



台湾の人たちの声援を受けながら、躍動感ある踊りを見せた夢想漣えさし(本郷由美子撮影)

迫力の演舞 台湾魅了

道内2団体 フェスで YOSAKOI

【雲林(台湾)本郷由美子】旧正月を祝う台湾の代表的な祭り「台湾ランタンフェスティバル」(台湾政府観光局主催)が11日、台湾中部の雲林県で開幕した。道内のYOSAKOIソーランの2チームが出演し、迫力ある演舞で台湾の人たちを魅了した。

参加したのは昨年のYOSAKOIソーラン祭りで進大賞を受賞した「新琴似天舞龍神」(札幌市)の25人と、台湾との交流に力を入れる「夢想漣えさし」(宗谷管内枝幸町)の42人。それぞれメインステージと、ステージ周囲の430坪を練り歩くパレードに出演した。色鮮やかな衣装で元氣よく踊る姿に迫道から

大きな拍手が送られた。

新琴似天舞龍神で踊り手のリーダーを務めた黒田美保さん(43)は「精いっぱい踊った。お客さんも『頑張つて』『よかったよ』と声をかけてくれた」とうれしそうに語った。

道内のヨサコイチームは日台交流を目的に、2003年から毎年同フェスに参加しており、台湾政府が旅費などの一部を補助している。同フェスは19日まで行われ、会場には札幌市が出展した雪だるまやソフトクリームをかたどったランタンも展示されている。